

1—15

1

延宝七曆

江戸御進上覺帳

未八月吉祥日

2
(白紙)

3

御進上串鮑之目錄

— 御公方様_江 五百入

— 酒井雅樂頭様_江 五百入

— 酒井河内守様_江 五百入

4

— 稲葉美濃守様_江 五百入

— 大久保加賀守様_江 五百入

— 土井能登守様_江 五百入

— 堀田備中守様_江 五百入

右ハ御老中様

5

— 松平因幡守様_江 三百入

— 石川美作守様_江 三百入

此御兩人様若御年寄衆

— 板倉石見守様_江 三百入

— 松平山城守様_江 三百入

此御兩人様寺社御奉行衆

但此両寺社衆より進物御返遣被成候へ共、重_而ハ

留_り可申候哉しれ不申候

6

— 阿部四郎五郎様_江 七百入

右之串鮑小數合五千四百入用

如此之數程千鮑江戸迄御持参

若不足_{ニ而}江戸鮑買候てハ鮑箱之

御書付有之まゝ竹嶋鮑とハ難成候

万一寺社御奉行様よりも御進物御返環

被成候ハ、殿様へも御進上被成候間左様

御心得御尤と奉存候

7

一 阿部四郎五郎様_江

さらし 五疋

紫下緒大小箱入

上々扇子五本入焼杉箱

一 奥様_江

白ちりめん 壱巻

ひちりめん 壱巻

さらし 三疋

一 権八郎様_江

立聞 三掛

上々扇子五本焼杉箱

8

一 阿部忠右衛門様_江

さらし 三

立聞 三懸

上々扇子五本焼杉箱

一 大久保八郎左衛門様_江

さらし 三疋

立聞 三掛

上々扇子五本焼杉箱

但八郎左衛門様_ニ御指合御座候_而おさまり不申候

一 龜山庄左衛門殿_江

さらし 三疋

紫下緒大小一具

上々扇子三本入一ツ

9

庄左衛門殿

一 御内儀様へ

白ちりめん 壱巻

庄左衛門殿御養子

一 龜山数右衛門殿へ

さらし 壱疋

庄左衛門殿御同前之由

○ 一 勝野六大夫殿

さらし 壱疋

四郎五郎様御使者衆

一 関川千右衛門殿

さらし 壱疋

10

御さどうかしら

一 星野道半様_江

さらし 壱疋

御さどう衆

一 鈴木道守様_江

さらし 壱疋

雅楽頭様御家老

一 関伊織様^江

長崎足袋十束入
上々扇子五本入焼杉

雅楽頭様御家老

一 上田五大夫様^江

長崎足袋十束入
上々扇子五本入焼杉

11

大久保加賀守様御家老

一 近藤吉左衛門様へ

長崎足袋十束入
上々扇子五本焼杉箱

右三人之家老中へもさらし壺疋宛と

亀山庄左衛門殿より御さしづ被成候へ共

手前ニハ無御座候由御断申上候へハ、俄ニ買

可申より何ニても手前ニ有之ものニて可仕由

足袋十足入ニ扇子五本入相添可然之由

被仰付候間如此ニ御坐候、此段重^而ハ能々

御心得御尤ニ奉存候

12

相模守様御内

一 甲斐守様へ

隠岐之国鮑
八串物式連指上^ケ申候

同断

一 木戸十兵衛様へ

長崎足袋十足入
上扇子五本焼杉箱

同断

一 森与三右衛門様へ

長崎足袋十束入
上扇子五本杉箱^ニ入

同断

一 梶川次左衛門様へ

長崎足袋五足入
上扇子三本入杉箱入

13

同断

一 牧野助太夫様へ

扇子三本焼杉箱入

同断

一 坂川彦左衛門様へ

扇子三本焼杉箱入

同断

一 伊木平太夫様へ

扇子三本焼杉箱入

	同断	
14	一 前田門兵衛様へ	扇子三本焼杉箱入
	同断	
	一 臼井武兵衛様へ	長崎足袋五足入 上扇子三本焼杉箱入
	一 入江孫八郎様へ	扇子 壺箱
	一 伯州様	扇子五本入焼杉箱
	一 御家老衆	扇子五本焼杉箱入
15	一 伯州様	
	御家老衆	
16	一 (白紙)	
17	一 (白紙)	
	一 大屋半左衛門殿へ	上下壺具 さらし半疋
	一家	
	一 同 御袋様へ	さらし壺反
	一家	
	一 傳右衛門殿へ	上下壺具 さらし壺反
	一家	
18	一 権左衛門殿へ	上下壺具 わたぼうし一ツ
	一家	
	一 大屋善兵衛殿へ	上下壺具 わたぼうし一ツ
	一家	
	一 丸屋藤八殿へ	長崎足袋三足
	一家	
	一 丸屋六兵衛殿へ	長崎足袋三足
	江戸傳馬町	
	一 いしやへ	長崎足袋五束
19	但シ葉代ニ添申候	

	一 池田又兵衛殿へ	扇子 貳箱 四本入
	一 長谷川喜兵衛殿へ	扇子 壺箱 貳本入
	大坂	
	一 塩屋次右衛門殿へ	扇子 壺箱 貳本入
	大坂	
20	一 日向屋久右衛門殿へ	扇子 壺箱 貳本入
	鳥取	
	一 土庵殿へ	扇子 貳本入
	鳥取	
	一 大津やへ	扇子 貳本入
	鳥取	
	一 白井七左衛門殿へ	扇子 五本入
	鳥取	
	一 白井重太夫殿へ	扇子 五本入
	鳥取	
	一 玄番様	扇子 三本入
	家老衆へ	
21		
	鳥取	
	一 村瀬六郎左衛門殿へ	扇子 貳本入
22	(白紙)	
23	(白紙)	
24	(白紙)	
25	(白紙)	
26	紙数拾七枚	